

寒い日が続きますが、あっという間に春、卒業・進級の季節ですね。恒例となってきました絵本紹介会ですが、今回は全保護者から募ったところ、56冊もの紹介を頂きました。また、今回は先生方からも!! 紹介して頂きました。何とも嬉しく、感謝する限りです。本当にありがとうございました。長編になりましたが、お時間のある時に読んでいただければ幸いです。一冊でも、素敵な絵本との出会いになりますように。



「木」画・佐藤 忠良
文・木暮 尚 2001年2月号

彫刻家の佐藤忠良による画(絵)が、生命力に溢れています。この本を見ると、園庭のいろいろな木に登ったり、その根本で土あそびを楽しんだり、こどもたちの景色が浮かびます。最後のページを開くと「うっひゃあっ」という文とともに大きな木がくたいなうたっている絵が。 (副員・由美子) あり、左巻です。



パンパのらくちん

とてもユニークなおひいさんの料理が
うちのまわい、小おひい 始まりました

(小川)



旅の絵本 安野光雅作

シリーズの絵本です。幼い頃は親や姉と一緒に見ながらいろいろなお話をつっこみ、おしゃべりを楽しんだりしていました。大人になってからも見る度に新しい発見がある大好きな絵本です。私の出身地の隣の町に安野さんの美術館があります。 (奥戸直子)



クリスマスのふしぎな箱 文 長谷川 撫子 絵 斎藤 俊行

クリスマスの日に男の子が不思議な箱をみつけるところから始まります。それはたぬきとたぬきの箱。

箱をのぞいたときに、ドゥム、ドゥム、ドゥムと男の子と一緒に私もドゥム、ドゥムとしゃべります。絵も素敵です。 (猪狩)



めっきらもっきらどおんどん 長谷川 穂子

かたがお宮にある大きな木の根っこの穴から落ちて訪れた国は、何と
へてこな世界でした。その住人の3人組とかたは仲良し、時を忘れて
遊び回ります。けれど、すだに夜。かたはび細くなって「おかあさん!!」と叫びと...
躍動するこぼと絵が子どもたちを存分に楽しませてくれる (國井 美咲)
ファンタジーの絵本です。



くるんはのようちえん 西内ミナミ

ひとりぼちの大きなぞうが、失敗を繰り返して、最後に巨大な
幼稚園を作って大成功するという絵本です。小さい頃に好きで
何度も読んでいたから印象に残っています。

(富田 杏菜)



まっくらめがね / 山崎英介

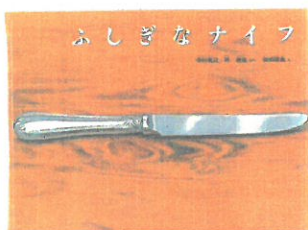
おたくんはめがね屋のおじさんから、不思議なめがねを貸して
もらいます。そのめがねをかかると動くものがみんな真の黒に見えるのさ!!
もっと不思議なことに、真の黒になった人のシルエットがまるで文字や動物のよう
に見えます。あれ...こんな形前のページにもあったけ?と何度も字を見返し
たくなるユニークな異色絵本遊ばの本です!! (石井 智子)



へろへろおじさん 佐々木マキ作 絵

今日はととんツレない。道を歩けば次々に
降りかかる災難の連続、おあまりにも不運な者が
笑いを誘います。

(生田 目恵子)



ふしぎなナイフ

何のへんてうもはい1本のナイフ。ページをめくると、
毎に、まがたり折れたり、溶けたり... 不思議に変わ
っていきます。えー!えー!と言いつつ、ワクワクして見ていた日

(たけの 山下)



パパ、お月さまとって! / エリック・カール

女良に月をせがまれて、パパは本当にお月さまを連れてきて?! 画面が左右上下に広がるしかげで、空の高さや月の満ち欠けを表現した絵本です。私も子どもの頃この絵本を見て「本当にお月さまに行けるかも!」と思っただけにほど。追いつくお月さまの絵が大好きでした(っ*) (鈴木さき)



しろいうさぎとくろいうさぎ

カース・ウィリアムズ 文・絵
まっおか きょうこ 訳

うさぎたちの豊かな表情や柔らかい綺麗な絵と、互いを思いやる優しい心が表現された大人になっても読みたくなる心温まる素敵な絵本です。(広瀬志乃)



3びきのかわいいオオカミ

ユージン・イオネスコ 文 ヘレン・オクセンバリー 絵
こだまともこ 訳

いつもは悪役が多いオオカミが心優しい主人公。「3びきのこぶた」のお話の面白さを知っていると2倍楽しめます。(伊藤尚美)

先生方、お忙しい中

ご協力ありがとうございました。



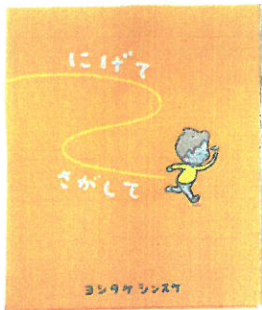
ジロがなく



ジロがなく<新装版> 山下ケンジ

決してなかない犬ジロの物語。
友情、勇気、多様性について考えさせられます。

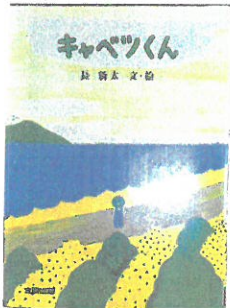
(つき・吉井)



にげて さがして ヨシタケ シンスケ

ひどいことを言う(する)相手に出くわした時、まずは「逃げる!」そして…
この絵本を読むと「いやだな…」 → 「そっか☆やってみよう!!」
と前向きな気持ちになれます。

(つき・近澤)



キャベツくん 長 新太 文・絵

あれ? 体の一部がキャベツになってる!?
「こうなる!」という言葉を通じて子どもと言いながら次のページを楽しみに
キャベツくんの最後の一言に優しさを感じました。

(つき・近澤)



でんしゃはうたう 三宮麻由子 ぶん みねおみつ え

電車が駅を出発してから、次の駅に至り着くまで。
「たたっ たたっ たたっ たたっ たたっ とどん」など、目を閉じていても
絵が浮かび、擬音がとても見事です(読むのは苦労は可が…)。

(つき・富田)



あらしのよけに ①(シリーズ⑦) きむらゆういち・作

あべ弘工・絵
まっ暗な嵐の夜、それぞれやちい屋に逃り
着いたヤギとオカミ。お互いの姿が見えない中で、
心細い夜に会話し共通点をたくさん見つけ、「ともだち」
になろう。⑥、⑦まで是非読んで下さり。つき・富田



えほん 寄席 満員御礼の巻 桂文我 (CD付き)

「いらはやし」(他4話) ひらばやし 平林さんへお手紙を届ける
お使いを頼まれたにまだ字の読めない丁稚の定五。
おまけに忘れっぽくて、どう読むのか会う人会う人に聞いて
いくのであが…子ども読者に楽しめる落語。(つき・富田)

ライブ版
CDも
おススメ
です



いちはんしあわせなおくりもの 宮野 聡子

読んでいる間も、読み終わるとあとも、胸がぎゅぐゅと
温くなる絵本です。

(つぎ組・中山鳥 沙梨)



ノラネコぐんだん きしゃぽっぽ 工藤 ノリコ

走り出したら、だれも止められないノラネコたち。今回は汽車
を舞台に大あはれしちゃいます。破天荒、どろどろにめない
ノラネコぐんだんの魅力全開

(つぎ組・中山鳥 沙梨)



ノラネコぐんだん ケーキを食べる 工藤 ノリコ

ケーキ屋さんが舞台! 駅店前の「ワンワンケーキの店」さのぞく
ノラネコぐんだん。店内では、マミちゃんかワンワンちゃんに
「1個食べるといいでしょう」とおねだりしています。ふと木
達の新展開に、ハラハラドキドキ止まらなレ!

(つぎ組・中山鳥 沙梨)



100 かいたてのいえミニ いわいとしあ

数字が好きな息子のお気に入り絵本です。

一緒に階数を数えたり、読むたびに新しい発見があつたり...
楽しみながら読むことができます。

(つぎ・吉井)



きんのたまごにいらん

両親の気持ちも、子供の気持ちもよく理解できる

子供の可能性を...。

あきやま ただし

(つぎ・福井) 恵子



ぼくのおふろ 鈴木のりたけ 2010.7初版

この本を紹介して下さいの方は、本が大好きで大好きで本屋さんで転職した方です。
「4才の男の子にオススメの絵本は？」と伺った際に紹介して下さいました。
作者の想像が奇想天外なお風呂が想像力を掻き立ててくれる作品です。
(つき・武井)



ねるじかん 鈴木のりたけ 2018.5初版

[注意] タイトル通りに寝る時間に読み聞かせするのは大変危険です。面白すぎて大人も子供も大笑い。子供は覚醒します。(こも夜の静かな時間に読むのがピッタリはんですが...) 寝かしつけ奮闘する母親が文章・絵共に忠実に再現されており、共感ポイント盛り沢山です。
(つき・武井)



14ひきのあさごはん

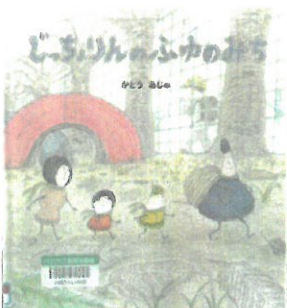
文字は小さいのですが、一匹一匹の表情や食事、自然の背景や美味そうな食べ物、絵を見るだけでどんぴしゃで起きているか想像できて楽しい。

いぬみら かおあ (つき・武井) 心子



こしのセーター 石川エリニ 2010.2

去年まで着ていたセーターが小さく感じました。「ほびいとおみはあそうね」とおばあちゃんとおかあさんが言いました。おみはあ可憐って、毛糸を二匹に縫い合わせることで初めて知りました。冬のあたたかぬあつち時間を感ずる本です。
(つき・橋本)



じゅりんのふゆのみち かほろあじや 2010.2

ちいさなじゅりんかぞくと見ると冬の景色が楽しい絵本です。とにかく絵がかわいらしい!! あっ! 二匹に二匹にも二匹に二匹か!! と、見つけるとうれしくなります。草花の名前も矢張りこぞとでできまよふ心。
(つき・橋本)



とこやにいたライオン 作:サトシン 絵:おくはらゆめ

毛がもっさもっさのライオンがとこやにいたらとんでもない事になっちゃいます。お話です。
最後の姿に親子で笑ってしまいました。

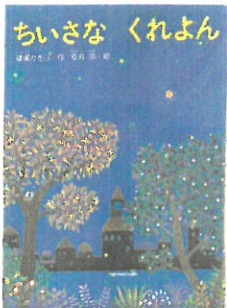
(つぎ・板倉)



そらいろのたね 作 中川 利枝子

私が小さい頃から大好きな絵本です。息子は動物がたくさん出てくるところがお気に入りです。男の子が宝物にしている飛行機ときつねが持っている「そらいろのたね」を交換し、種を育てていくお話です。

(ほし・金澤)



ちいさなくれよん 作・篠塚かをり

折れて短くなった黄色いくれよんが、くすがごの中に捨てられていました。「ぼくまだかけますよ」とくれよんが外の世界へ出て、靴に付いているひよこをぬつり、おもちゃの黄色い自動車をぬつり冒険します。物を大事に使おうという気持ちと、たくましくれよんくんを応援したくなりました。(ほし・金澤)



ピヨピヨ スーパーマーケット . 工藤 ノリコ

にわとりのお母さんとち羽のひよこ達がスーパーへ買い物へ行く物語。スーパーで何をかうか、毎回読む度に子どもと決めて探るのが楽しいです。スーパーでよく見かけの光景が描かれているので親子で共感できる部分が多いのも (ほし・野口) 見どころです。

10かいだてのおひめさまのおしろ . のはな はるか

女の子が夢の中でおひめさまになるお話。各ページに様々な種類のドレス、靴、アクセサリーなどが描かれているので「今日はどれにする?」と毎回選んでは楽しく読める絵本です。(ほし・野口)



おにたのぼうし

あまみきこ丈 / いわさきちひろ絵

節分の日の物語。優しい子鬼の"おにた"と、病気の母をもつ健気な少女との、優しく切ないお話です。
岩崎ちひろさんの挿絵がとても抒情的で、あまみきこさんの文とあいまって胸がジーンとさせられます。(ほし・須田)



しょうぼうじどうしゃ じぶた

渡辺茂男 作 / 山本忠敬 絵

働く車が大好きな息子の「不動のNo.1絵本」です。
主人公のじぶたは、自分をちっぽけと感じ自信を持って子せん。そんなある日、山の中で火事が発生! じぶたに出勤命令が出ます!! 皆それぞれに得意なことや役割があり、活躍できる場所がある(ほし・須田)ことを教えてくれる作品だと思えます。



かみさまからの おくりもの

ひぐちみちこ

誕生の時、神様が赤ちゃんに贈られたものは、その子の「個性」。それぞれの子どもが持つ素敵な個性が描かれ、とても優しい気持ちになれる一冊。「あなたは何かをもらってきたのかな?」と聞くと、色々な答えが出てきて楽しいですよ。(ほし・須田)
作者の「あとがき」もオススメです!



100かいだてのいえ / いけいとしあ'

100階だての最上階に住むおれから「遊びに来て」と手紙をもらうところから始まるストーリー。たてものには色々な住人について、細かく描かれています。たてもののスケール感にもおどろきます。(ほし・天野)



チリとチリリ / といかや

チリとチリリがお散歩していき。どんどん進んで、夜の子景色にワクワクします。色鉛筆(?)で書かれた絵はやさしい美しい。大人も楽しめる本です。(ほし・天野)



文：ティナ・オズワット
 絵：アレクサンドラ・ザヨニツ
 訳：森 絵都

<きもち>はなにをしているの？
 子供にとってはまだ名前もわからない、未知の存在である
 さまざまなきもち。目には見えないものだけれど、いの中でのこんな風
 いてくれるのかな？ いつか息子も自分の気持ちを理解して言葉に
 する力が自然と身につくのではないかと、期待（ほし・大縄）
 しています。言葉にしようと思うとむずかしい気持ちの
 説明が、シンプルに表現でしっかりと伝わってきます。



ぶん：アリス・ゲイシャイトー / ミム・グリーン
 え：ティラヴィッド・ラナー
 訳：福本 友美子

だいすき ぎゅっ ぎゅっ
 うさぎの親子の1日を描いたお話です。朝おきてから夜ねるまで、
 親子で過ごす時間の幸せがいっぱい感じられる素敵なお話です。
 読む度にやさしい気持ちにさせてくれる絵本で、思わずぎゅっと
 したくなる1冊です。 (ほし・大縄)



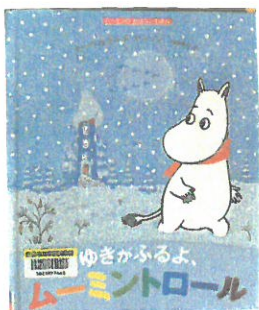
みずとはなんじゃ？ / かこエリ子作・鈴木まさを絵

図鑑の類はほかほか手にしてあげたい娘の為に購入しました。化学の入門となる
 絵本です。身近な水について、大事はポイントを分かり易いイラストと
 例えを使って表現されています。かこエリの遺作にはなっています。
 (ほし・菊池)



ぐりとぐらのおおそうじ / はかがわりえことやまわきゆりこ

冬が南けた朝、埃の溜まった家の掃除に張りつるぐりとぐら。ぼろぼろの掃除道具の
 代わりに、自分達がぼろぼろを纏い、雑巾や箒になっていると、泣き止まらないうさぎの
 びくりに「おぼろ」と仲間を呼んでもう一度見に行きます。
 きれいになったお部屋で過ごす時間は、ほろりです。 (ほし・菊池)



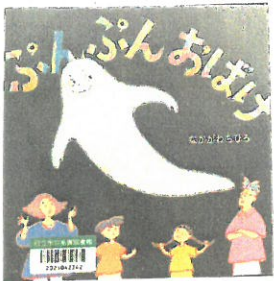
ゆきかふるよ。ムーントロール / トーベ・ヤンソン 当麻ゆかり訳

冬眠前の何ともしえない怪しいような切ないような気持ちの、説明的ではなく、
 ムーミンの行動から感じ取る。最後は、又好きなスタッフから手紙で
 春を楽しみに眠りにつけるように、ムーミンにユウもほらとてまよ。
 (ほし・菊池)



おばけのめをみておとうさぎ! ヨナ・セヨルンシェーナ作/養木晃子訳

シリーズ初作。森のこあ〜い所へ迷い込んだらおばけに遭遇!
おばけの目を見なかったから家までついてきちゃった。でもおばけは悲しそうな目... おばけは怖いけど怖がらなっちゃうおばけも寂しいんだな。と
チョッソソおばけが怖くなくなる絵本です。(15歳・渡部)



ぷんぷんおばけ なかがあちひろ

ぷんぷんおばけはとても悪いおばけ。どこの家にも必ずいて怒っている人の頭から
でる煙が大好き! ぷんぷん煙をひろげる為のうちおをあげて他人にもうつします。
皆が怒ってぷんぷん煙がいっぱいになったところで... 煙を食べちゃう!! あなな? じゃあ
いいおばけじゃない? 読んだ後、子供が怒りだした時(15歳・渡部)
「ぷんぷんおばけ、どこだ?」と盛ソよがソなから気持ちの切り替えができる本です。

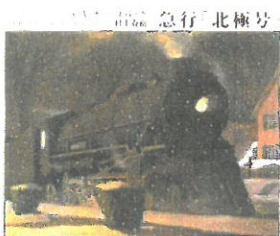


ねこのシジミ

作・絵 和田誠

和田氏追悼祈念。私はとほけに和田さんの絵本が大
好きです。この本も全体的にとほけています。色々ナナナです。
奥様のレミさんのナナナに子供達も爆笑していました。

(15歳・澤入)

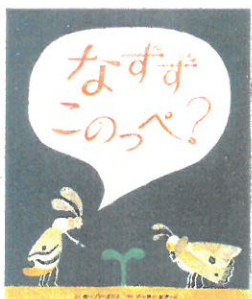


急行「北極号」

作・絵 クリス・ヴァン・オールズバーク
訳 村上春樹

子供が読みたいと手に取った本。「何か汽車の聖とうな本だね...」と
読んだら、幻想的なクリスマスの本でした。ほんのり漂う村上節も
いい感じ。兄弟本(ななの?)の「西風号の遭難船」も好きです。

(15歳・澤入)

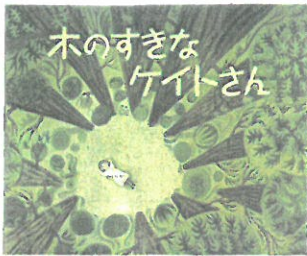


なすずこのへ?

作: カーソン・エリス
訳: アーサー・ビナード

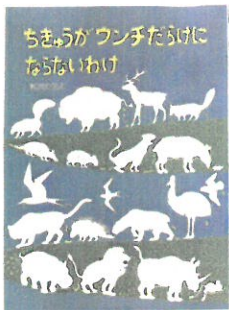
絵が繊細綿でとても綺麗なこの本は、なんとも昆虫語で
書かれています! 本の隅から隅まで目を配り昆虫達の声に
身を傾けます。これはこういう事なんじゃない? と子供達と話し
ながら読むと楽しいです。

(15歳・澤入)



木のすきなケイトさん 砂漠を緑の町にかえた女の子のひとのあはなし 文: H. 湯のホアズ
 絵: ジル・マケルリー
 訳: 池本 在恵子

アメリカ 南カリフォルニアにあるサンディエゴという町の "バルボアパーク" を作った女生の
 話です。1883年のサンディエゴはなんと砂漠の町。そんな町に木を増やして熱帯に
 とこそ実感できるお話です。 (12年中・あじが)



ちきゅうが ウンチだらけにならないわけ / 木公 園たつひで

主人公の犬が、自分のウンチを人にひろってどうこぼれかストーリーが女祭りです。
 カラスのウンチやウサギのウンチ、カエルのウンチは、人にひろって来ないのに
 ちきゅうはなぜウンチだらけにならないのか? 知見さんか (12年中・あじが)
 とこそ 好きな内容のお話になっています。



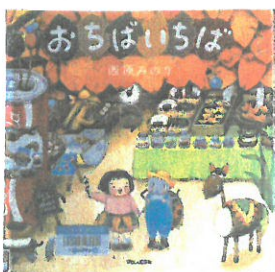
ちきゅうは みんなのいえ / リンダ・グレイザー: 文 ・ エリサ・クレウエン: 絵

これから子どもたちが生きていく地球のことを考えさせられる本です。
 子どもたちのことを考えると、今、自分には何が出来るだろうと感じました。
 (12年 年中・あじが)



ゆきのひのアイスクリーム さく: 片山 金子 え: 柳生 まち子

ふゆちゃんがおとこだちのゆきだるまとゆきうさぎと一緒に
 アイスクリームを作るお話です。「とぶん はぶん ちびまん」という音で
 くり返す言葉がでてくるので親子で楽しめます。読んで歌にはアイスクリーム
 を作ったお楽しみになる本です (12年・友部)



おちばいちは 作: 西原 みのり

和紙がたくさんの絵本。細かいところまで楽しめる、三枚のツキッス
 なら喜びそうな 虫や葉っぱ 木の実が いっぱい の本です。

(12年・友部)



ボフダン・ブテコ エ
しずくの (ぼうけん) マリア・テリコフスカ 著
うちゴリマニ ヤク



子どもだったころ母によく読んでもらった絵本です。
しずくはどこへ行ってしまおうんだろう? ヒドキドキしながら
聞いていました。絵も色彩がキレイで (にじ・小本
千夏)



チャレンジ ミッケ! 作 ウォルター・ウィック
訳 糸井重里

子どもたちが大好きな ミッケ! シリーズ。ページいっぱい
散りばめられた宝石箱みたいな本で、大人もワクワク
します。"このほんぜんぶが"かくれんぼ"さあ、ミッケ!

(にじ・小本
千夏)



10のすかん 作 大森裕子
おすしのすかん

おすしが大好きな息子のお気に入り絵本です!
とにかく絵が本当に細やかでツヤツヤで、見ると
お腹が空いてきます。じっくりと見てほしい絵本です。
(食パンのページはぜひ見てほしい!♡) (にじ・小本
千夏)

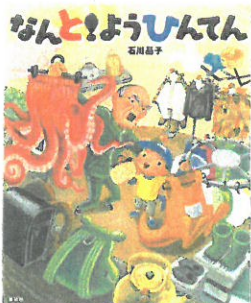


にちよういち・西村繁男

高知市の伝統的な日曜市の様子を工佐井が描かれており
最後に標準語の解説も載っています。

工佐井に挑戦しながら読むと楽しいです(難しい!!)

(にじ・菊池)



なんと!ようひんてん・石川基子

おじいさんといっしょに新規開店の洋品店へ行ってみると
ふしぎな商品がいっぱい。試着室へ案内されると次々と
困難が... それをきりぬけるために、そうだ!試着だ!

あったら便利だろうなと思う商品は試着 (にじ・菊池)
してみたくていい。



千りと千りり どいから・アリス館

やさしい絵のタッチと物語の世界が、娘下らば大好きで
シリーズを集めていました。物語に出てくる飲み物や
むいん、あめなど鬼まじりで、母も食べてみたいなあ...と思いつから
(にい・井上)読みかきかせ
ていました。



わちふいーるど 四季の絵はなし 池田 あき子

雑貨や絵本が人気の猫のダヤンのお話か複数(16話)楽
しめる文庫版の絵本です。不思議な国わちふいーるどで可愛い
動物達と楽しく過ごしている気分になります。

(にい・大野)
ゆき子



ミッフィーとフェルメールさん 構成・菊地敦己 文・国井美果

絵画や美術館が身近に感じられると思います。難しく考えず
気軽に自由に親子で楽しむミッフィーちゃん達。お子さんと話し
をしながら、大人も癒されています。なかなか美術館(子供と)
に行けない時にも良いのです!

(にい・大野)
ゆき子



アニマルバスとくものうえ

アニマルバスがみんなかわいくて、女の子が
好きな物がいっぱい出てきて大人も楽しめる
絵本です。読んでみてください。

文・あさのますみ 絵・こてりしほ (かせ・味厚)



ねえ、どれがいい? ジョーバーニョム イク まつかわ まゆみ 文。

「ねえ、どれがいい?」とでてくるのは「どれもイイ」と言いたく
なるような選択ばかり!!

でも次はどんな選択?とP-ジエめくるたびにほん(ご)ワクワク**
想像力と好奇心をわき立てられる (かせ・及川)
そんな一冊です



りんご だんだん 小川忠博


おいそうは一つのりんご 放っておくとだんだん、だんだん...
一枚りんごをめくるたびに、変わっていくりんごの姿に
大人もドキドキ。このあじどうなるの?とひきつけられます。
(かせ・鈴木)



ほいしよのおともだち 作・ビバリー ドリフリオ
特に女の子が喜びそうな絵本です。かわいい家具や装飾や
洋服がこまかく描かれていて、文章も繰り返しのテンポが
心地良く感じます。私もこんな家に住みたいです。
(かせ・川崎)



キャバツがたべたいのです。 作・シゲタ サヤカ
チョウチョが、毛虫だった頃のキャバツの味が忘れられない、また食べ
たい、という面白い切り口のお話です。シゲタさんの絵本は全部楽し
「おにぎりはいいよ、おにぎりだよ」も最高です。
(かせ・川崎)



今年度も、絵本同好会への
たくさんご協力をいただき、
ありがとうございました。

来年度もどうぞ
よろしくお願ひ致します。